

グラフdeセンサス2015

グラフ

で

見て学ぶ

農林業センサス

第6回 農山村地域調査

2016年（平成28年）
11月発行
東海農政局統計部

総戸数規模別に農業集落数をみると…

100戸未満及び500戸以上の割合が高い

平成27年における東海3県の農業集落数は8,252集落で、全国138,256集落の6%を占めています。

非農家も含めた総戸数の規模別に農業集落数の割合をみると、岐阜県及び三重県は50～100戸未満が、愛知県は500戸以上が最も高くなっています。また、都府県と比べてみると、岐阜県及び三重県は都府県同様に100戸未満の割合が高くなっていますが、愛知県では規模の大きい階層の割合が高くなっています。

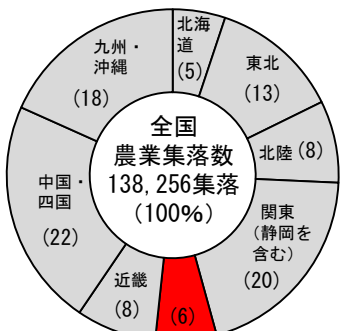
農山村地域調査とは

農山村の実態を総合的に把握するために、全ての農業集落（ただし、全域が市街化区域に含まれる農業集落は除く）について、農業集落の精通者を対象に調査員が行う調査と、全ての市区町村を対象にした調査に分けて、農業集落の概況や農業集落での活動状況等を明らかにするための調査です。

農業集落とは

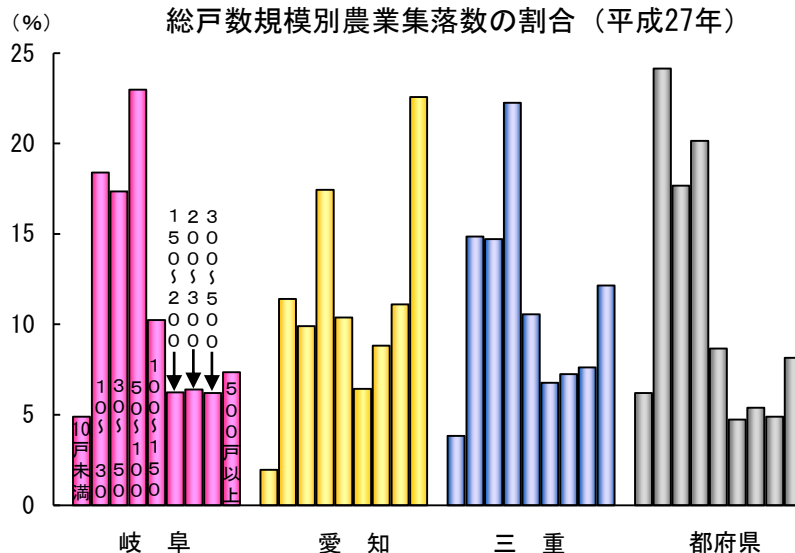
市区町村の区域の一部において、農業上形成されている地域社会のことをいいます。農業集落は、もともと自然発生的な地域社会であって、家と家とが地縁的、血縁的に結びつき、各種の集団や社会関係を形成してきた社会生活の基礎的な単位です。

全国に占める東海3県の農業集落数の割合（平成27年）



東海3県
農業集落数
8,252集落

総戸数規模別農業集落数の割合（平成27年）



注：農業集落数及び割合には、全域が市街化区域に含まれる農業集落は除外されている（以下、同じ。）。

ランキング

農業集落数が多い市町村（平成27年）

順位	市町村	農業集落数	主な農業地域類型
1位	豊田市	391	山間農業地域
2位	津市	390	中間農業地域
3位	松阪市	240	平地農業地域
4位	高山市	227	山間農業地域
5位	中津川市	221	中間農業地域
6位	豊橋市	214	都市的地域
7位	一宮市	213	都市的地域
8位	岡崎市	201	都市的地域
9位	西尾市	200	平地農業地域
10位	伊賀市	188	中間農業地域



総土地面積、農業地域類型別に農業集落数の割合をみると…

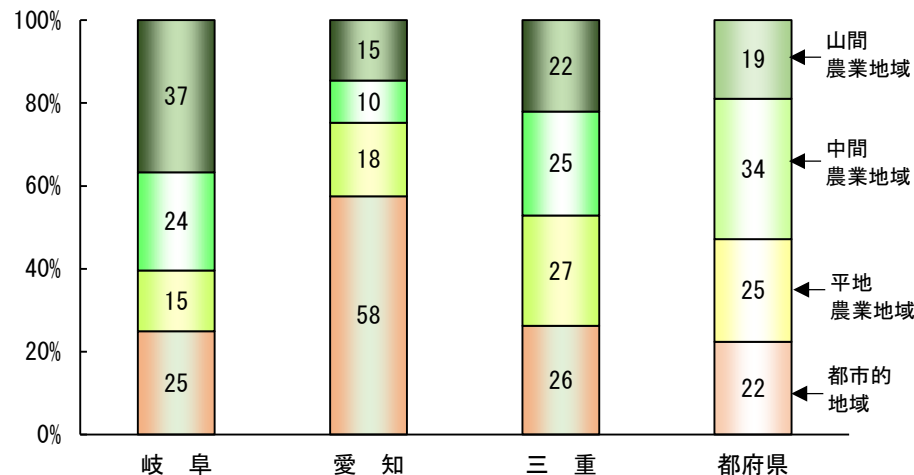
面積は100ha未満が主体で、都市的地域の割合が高い

総土地面積規模別に農業集落数の割合をみると、岐阜県及び愛知県は50ha未満が、三重県は50～100ha未満が最も高くなっています。また、都府県と比べてみると愛知県は100ha未満の階層で、岐阜県及び三重県は500ha以上の階層で割合が高くなっています。

農業地域類型別に農業集落数の割合を都府県と比べてみると、3県とも都市的地域が高く、特に愛知県は58%を占めています。また、岐阜県及び三重県では、山間農業地域の割合も高くなっています。

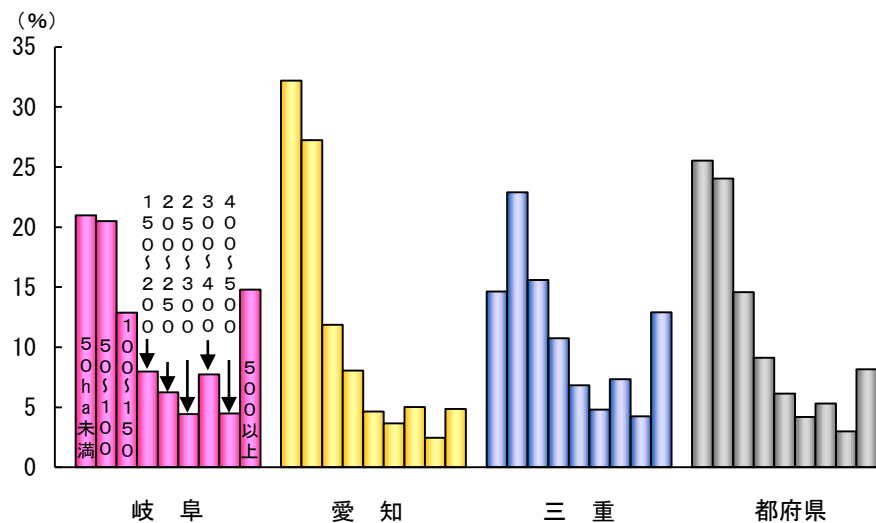
農業集落の中心地から距離が最も近いD I D（平成22年国勢調査の人口集中地区）までの所要時間をみると、3県とも30分未満の割合が高くなっており、特に愛知県では82%と都府県を16ポイント上回っています。

農業地域類型別農業集落数の割合（平成27年）

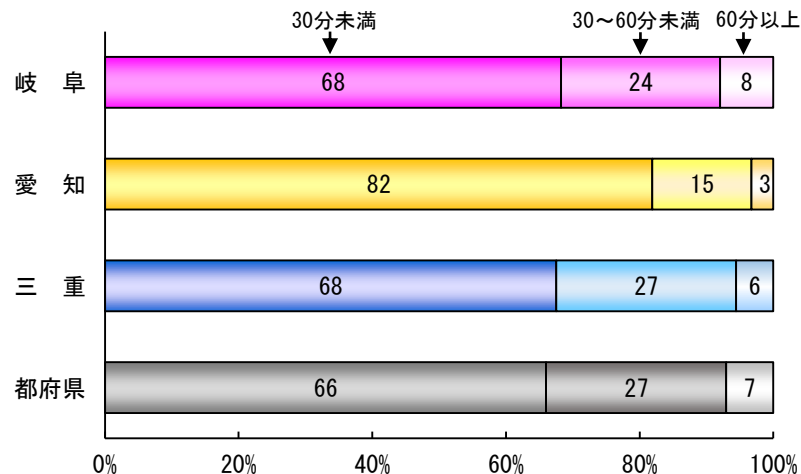


注：四捨五入により計が100%にならない場合がある（以下、同じ。）。

総土地面積規模別農業集落数の割合（平成27年）



最も近いD I Dまでの所要時間別農業集落数の割合（平成27年）



注：居住者が普段利用している交通手段による。

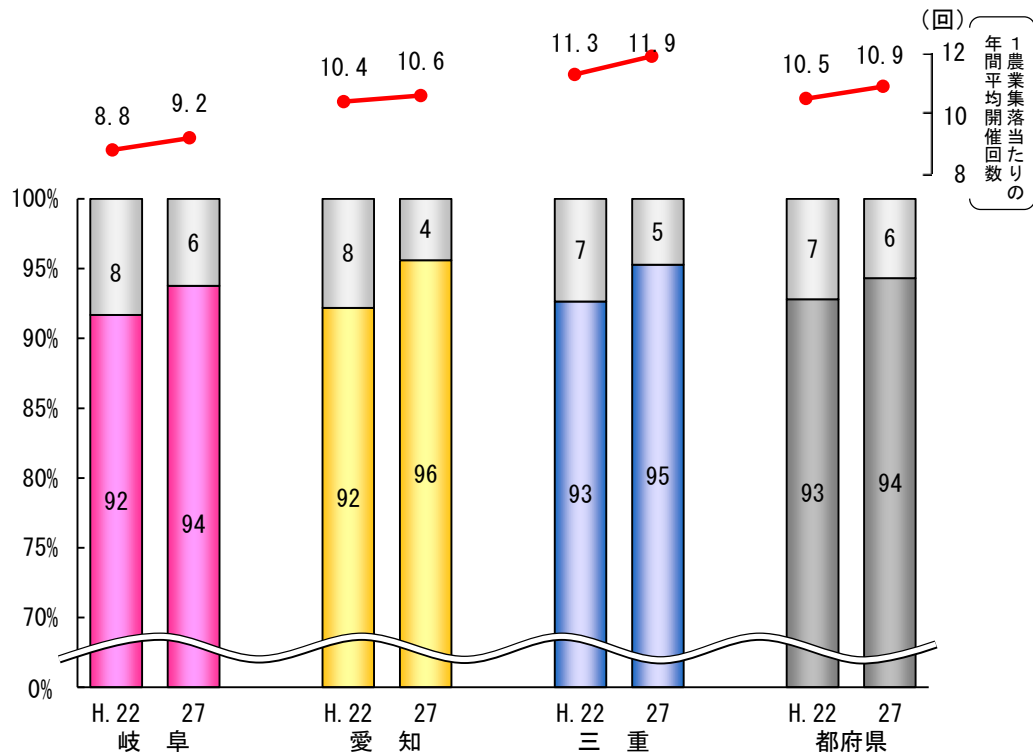
寄り合いの開催状況をみると…

3県とも90%以上が開催

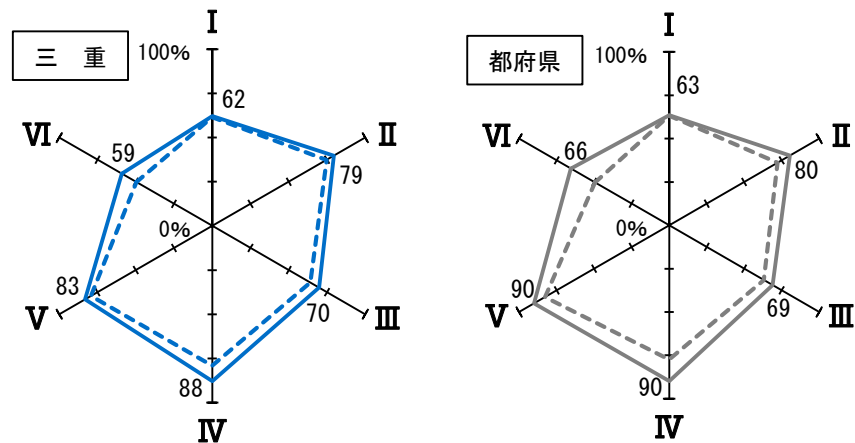
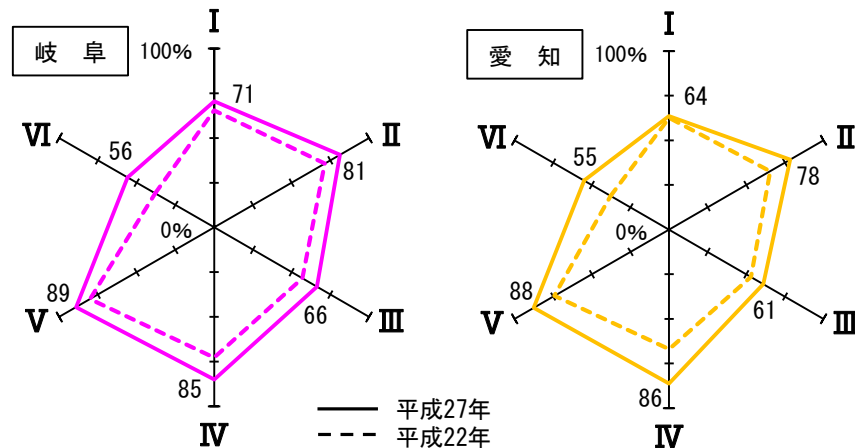
平成27年における寄り合いの開催状況をみると、3県とも90%以上の農業集落が開催しており、22年より上昇しています。また、寄り合いを開催した農業集落の年間平均開催回数をも増加しています。

寄り合いを議題別に平成27年と22年の農業集落数の割合を比べてみると、3県ともすべての議題で上昇しています。特に、「IV 環境美化・自然環境の保全」と、「V 農業集落行事の計画・推進」は、90%近くとなっています。また、「I 農業生産にかかる事項」は、22年とほとんど変化がない一方で、岐阜県及び三重県は「VI 農業集落内の福祉・厚生」が、愛知県は「IV 環境美化・自然環境の保全」が最も上昇しています。

寄り合いの開催状況の割合



寄り合いの議題別農業集落数の割合
(複数回答・寄り合いを開催した集落数=100%)



寄り合いの議題

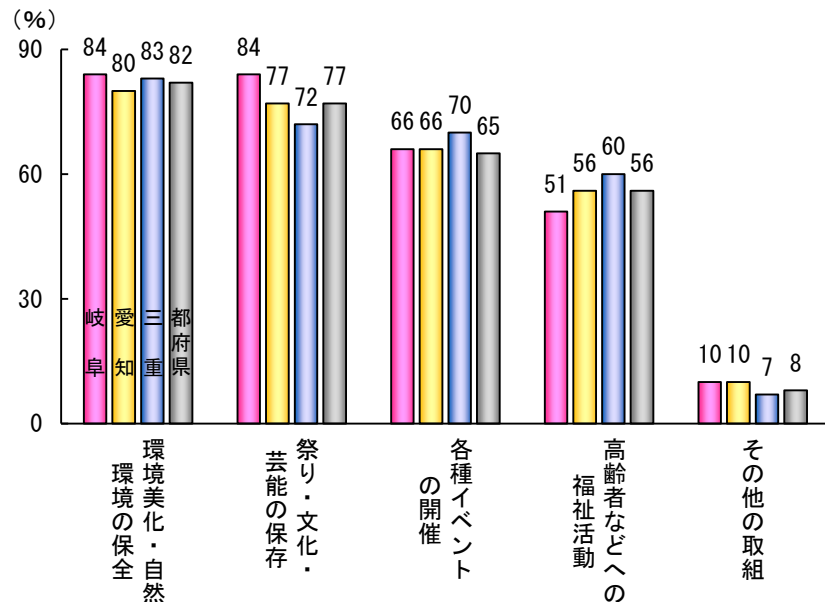
- I 農業生産にかかる事項
- II 農道・農業用排水路・ため池の管理
- III 集落共有財産・共用施設の管理
- IV 環境美化・自然環境の保全
- V 農業集落行事(祭り・イベントなど)の計画・推進
- VI 農業集落内の福祉・厚生

農業集落の活性化の取組状況をみると…

各県とも「環境美化・自然環境の保全」の割合が高い

2015年農林業センサスでは、新たに農業集落の活性化のための取組を調査項目に設定しました。3県の主な取組をみると、「環境美化・自然環境の保全」の割合が最も高く80%を超えています。次いで「祭り・文化・芸能の保存」が70%、「各種イベントの開催」が60%を超えています。また、都府県と比べてみると、岐阜県の「祭り・文化・芸能の保存」が84%で、7ポイント上回っています。

農業集落の活性化のための取組を行っている農業集落数の割合（複数回答・平成27年）



お問い合わせ先

東海農政局 統計部 経営・構造統計課
 電話：(052) 763-4731
 FAX：(052) 763-4709

※ その他の取組には、「グリーン・ツーリズムの取組」、「6次産業化の取組」、「定住を推進する取組」、「再生可能エネルギーの取組」が含まれています。

ココに注目！



都市住民との交流及びNPO・学校・企業との連携を行っている農業集落（複数回答・平成27年）

2015年農林業センサスでは、農業集落の活性化の取組の中で、「都市住民との交流」及び「NPO・学校・企業との連携」についても、調査を実施しました。

その結果から「環境美化・自然環境保全」や、「各種イベントの開催」等を各地で開催していることがわかりました。

